

# 野生いのししに対する豚熱経口ワクチンの第3回冬期1回目散布について

野生いのししに対する豚熱経口ワクチンについては、下記のとおり12月21日（月）から第3回冬期1回目の散布を開始します。

## 記

### 1 経口ワクチンの散布実績及び計画

#### (1) 状 況

	第3回冬期散布1回目	第2回春期散布（実績）
散布期間	令和2年12月21日（月）～12月28日（月）	令和2年6月19日（金）～6月30日（火）
回収期間	令和2年12月26日（土）～12月29日（火）	令和2年6月24日（水）～7月5日（日）
散布地域	舞鶴市、綾部市上林地域 南丹市、京都市 （4市）	舞鶴市、綾部市、南丹市、京都市、 宇治田原町、和東町、南山城村 （4市2町1村）
散布箇所（個数）	425箇所（8,500個）	450箇所（9,000個）
備 考	山城地域は、令和3年1月散布予定 計画：135箇所（2,700個）	夏期（7～9月）世界的なコロナ禍により、 ワクチン輸入が遅延したため中止

#### (2) 散布方法

- ・1k㎡あたり散布箇所を1箇所設定し、約5日間の餌付けの後、ワクチンを散布
- ・1散布箇所あたり10カ所に経口ワクチンを2個ずつ埋設
- ・経口ワクチンを回収し、いのししによる摂取状況を確認
- ・いのししを捕獲し、抗体検査を実施して、免疫の獲得状況を確認

#### (3) 散布地域を拡大する理由

野生いのししの豚熱感染地域が、10月以降、奈良県、大阪府、和歌山県へも拡大したことから、近畿以西へのウイルス拡大を防止するために府南部の散布地域を拡大するよう国から要請があったため

### 2 実施主体

京都府野生いのししCSF経口ワクチン散布等対策協議会

### 3 経口ワクチンについて

- ・ワクチンの入ったアルミ包の周りにトウモロコシ粉等を固めた四角形の固体で、ワクチンを摂取してもいのしし肉の安全性に影響はないと、国の食品安全委員会で評価されています。
- ・他の野生動物がワクチンを摂取しても影響はありません。

### 4 その他

- ・悪天候等による散布日時の変更に伴い、提供日時が変わる場合があります。
- ・豚熱は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。

# 第3回豚熱経口ワクチン散布 冬期1回目計画

